

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型(文型・理型)	全員/選択
国語	古典	3	2年	普通科普通(文型) 普通科国際コミュニケーションコース	全員

1 学習の到達目標

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 作品の読解に即して文語文法を学習し、日本や中国の優れた作品を読解・鑑賞する力を育てる。 古文や漢文の学習を通じて、日本や中国の文化・伝統に対する関心や理解をはぐむとともに、ものの見方や考え方を深める。
使用教科書・副教材等	教科書 高等学校 古典 古文編・漢文編(第一学習社) 副教材 新訂国語図説新版増補(京都書房) シグマ標準古文単語300+150(文英堂) 改訂新版 体系古典文法(数研出版) 漢文必携(桐原書店) 問題集 みるみる実力アップ古文stage2(第一学習社) 錬成漢文(尚文出版) 完成 日本文学史ノート(京都書房)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画

学期	学習内容	月	学習のねらい	活動の特記事項他	考查範囲
第1学期	『徒然草』 「花はさかりに」 『更級日記』 「門出」「源氏の五十余巻」	4	<ul style="list-style-type: none"> 1年生で学習した文語文法を確認する。 作者の人生観・人間観の深さを読みとる。 本文から心情を読み取る。 	文法事項の確認	中間考查
	「蛇足」 (故事成語)	5	<ul style="list-style-type: none"> 既習の訓読のきまりを確認し、音読することで漢文の調子に慣れる。 「反語」「限定」「再読文字」などの句法を理解する。 故事成語の由来と意味を理解するとともに、戦国時代の遊説家の巧みな論述を味わう。 	漢文の基礎の確認	
	『枕草子』 「村上の先帝の御時に」 「雪のいと高う降りたるを」	6	<ul style="list-style-type: none"> 自然・人間・社会に対などに対する作者の思想や感情を読みとる。 文章の内容や構成を展開に即して的確にとらえる。 	平安時代の文化や習慣に関する知識を付ける	期末考查
	『史記』 「鴻門之会」① 「項羽、大いに怒る」 「剣の舞」	7	<ul style="list-style-type: none"> 時代背景を把握し、登場人物の動きと心理に留意しながら訓読する。 句法を習得し、正確に口語訳をする。 秦滅亡と漢楚の争いを理解し、登場人物の立場・策略・性格について考えを深める。 	中国の歴史書に関する基礎知識をつける。漢文の特性を味わう。	
【課題・提出物等】 春休み課題と、1学期定期試験範囲、授業ノート、プリント類を教科担当の指示に従って、指定された締め切り日までに提出する。					
【第1学期の評価方法】 定期考查、課題テスト、小テスト、提出物、授業に対する意欲・態度を総合的に判断して評価する。					
学期	学習内容	月	学習のねらい	活動の特記事項他	考查範囲
第2学期	『大鏡』 「花山天皇の出家」 「道長と伊周一弓争ひ」	9	<ul style="list-style-type: none"> 長文の古文に読み慣れ、既習の文法知識や古語を用いて正確に口語訳する。 文語による「敬語法」を習得する。 藤原摂関家のエピソードを把握するとともに、虚構と史実の接点に成り立つ文学性を味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> 敬語法の習得 教材の持つ批評性を感じ取る。 	中間考查
	『史記』「鴻門之会」②「樊噲、頭髮上指す」「沛公、虎口を脱す」	10	<ul style="list-style-type: none"> 時代背景を把握し、登場人物の動きと心理に留意しながら訓読する。 句法を習得し、正確に口語訳をする。 秦滅亡と漢楚の争いを理解し、登場人物の立場・策略・性格について考えを深める。 	ダイナミックな人間ドラマとして歴史書を読む態度。	
	『源氏物語』 「光る君誕生」(桐壺)	11	<ul style="list-style-type: none"> 作品についての文学史的評価を確認する。 敬語を正しく理解し口語訳を正確に行う。 長編物語の展開を正しく把握し、登場人物の人間関係・心情を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 『源氏物語』の文学史的意味 人間心理への深い洞察に注目する。 	期末考查
	『史記』 「四面楚歌」 「時、利あらず」 「項王の最期」	12	<ul style="list-style-type: none"> 時代背景を把握し、登場人物の動きと心理に留意しながら訓読する。 句法を習得し、正確に口語訳をする。 秦滅亡と漢楚の争いを理解し、登場人物の立場・性格、人間の運命について考えを深める。 	短い言葉にも歴史や背景があること。	
【課題・提出物等】 夏休み課題と、2学期定期試験範囲、授業ノート、プリント類を教科担当の指示に従って、指定された締め切り日までに提出する。					
【第2学期の評価方法】 定期考查、課題テスト、小テスト、提出物、授業に対する意欲・態度を総合的に判断して評価する。					

学期	学習内容	月	学習のねらい	活動の特記事項他	考查範囲
第3学期	『源氏物語』 「若紫」(若紫)	1	・二学年の古文学習の仕上げとして、文語文法・敬語の確認を行いながら正確に口語訳を行う。 ・作品についての文学史的評価を確認するとともに、長編物語の展開を正しく把握し、登場人物の人間関係・心情を理解する。	・中古の物語に関する知識。 ・貴族文化における歌の基礎知識	学年末考查
	『論語』 「学習(学而)」 『孟子』 「性善」 「何必日利」	2	・春秋・戦国時代の諸子百家の流れを理解する。 ・儒家のものの見方や考え方、学問に対する態度や人間観を読みとる。	諸子百家、特に儒教に関する知識。	
	『老子』 『莊子』 『韓非子』	3	・句法や漢字の持つ意味を確認しながら正確に口語訳を行う。 ・道家・法家の思想を理解するとともに、それぞれの考え方の共通点や相違点を把握する。	中国の思想の流れの理解、文章としての鑑賞。	
【課題・提出物等】 冬休み課題と、学年末考查試験範囲、授業ノート、プリント類を教科担当の指示に従って、指定された締め切り日までに提出する。					
【第3学期の評価方法】 定期考查、課題テスト、小テスト、提出物、授業に対する意欲・態度を総合的に判断した上で、1年間の総合的評価をする。					

【年間の学習状況の評価法】
定期考查・課題テスト・小テスト・提出物・授業に対する関心・意欲・態度などにより総合的に判断して、各学期末に評価する。ただし、学年末は総合的な評価を行う。

確かな学力をつける アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の授業の予習・復習を確実にこなす。 ・古文単語や基本句形を確実に覚えて使えるようにする。 ・問題集など早めに計画に従って取り組む。
授業を受けるに当って 守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・予習を確実にしてくる。 ・疑問やあいまいな点を解明すべく、積極的に取り組む。 ・その日に授業の復習をし、単語や文法事項などを理解し、暗記すべきことを覚える。

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	言語文化や伝統に対する関心を深め、進んで古典に親しもうとする態度が養われている。	言語文化や伝統に関して広く関心を示しているか、また、授業中の取り組みの様子などから評価する。
思考・判断	古典に表れた思想や感情を的確に読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。	それぞれの教材の持つ特性を深く味わい、それによって自身の思考や心性を養おうとする学習態度を持っているか。また、定期考查や小テストによって、達成度を評価する。
資料活用の技能・表現	資料を通して古典作品の背景を知ること、古典の読解力を高める。	ワークシートの活用し、小テストにより評価する。
知識・理解	古典の理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けている。	定期テストや小テストによって、達成度を評価する。

3 担当者からのメッセージ

古典の学習の醍醐味は、時間的な隔たりや、それによって異なる状況の中で、人々がどのように生き、社会を見つめてきたのかを文学を通して深く味わい、現代における自分自身の生のために資することにあります。よって学習が表面的な単語や文法の暗記に終わらないよう、積極的な態度でのぞむことが大切です。予習を心がけ、より深い意味での学習ができるようにしましょう。